

第2回協議会意見対応表

委員名	意見
金子猛委員	患者数も重要だが、喘息に関しては年代も含めた「喘息死」のデータも入れた方が 良い。
相原委員	人材育成に関するところに、大学を記載していないのはおかしい。
海老澤委員	神奈川県内の診療所から二次医療圏の病院、そして拠点病院につながる、きちんと した連携体制を構築しないと、患者にとってアプローチがわからず、医師にとって も、難治性の患者を難治性の患者を繋げていくのが難しい。 拠点病院あるいは大学病院等でアレルギーの専門的な教育が出来る状況を作り出し ていただきたい。
浅野委員	こういう疾患、病態に対しては、病院あるいは診療所では見られないというとき に、どこに紹介するのかという流れを作ること。それがネットワーク。
森委員	地域連携という形で教育に携わるのが、一番、現実性がある。紹介を受け、地域に 戻す、病診連携の中で関係を作っているように思う。その中で若い先生を育ててい くのが大学の位置。
浅野委員	診療連携協力体制のことについて、なかなか実効性のある協力体制ができるのかと いうことについて疑問を感じる。 個々の施設の中での試みが中心で、神奈川県としてのネットワークにはなっていな い。10年計画の後半5年になるので具体的に構想して、それを運用していくことを 考えないと何も変わらない。
相原委員	連携に関して、拠点病院の方から連携を進めるということと、もう一つは医会・医 師会からが必要。 拠点病院側からだけでなく、診療所側からのアプローチもあり得るのではない か。
海老澤委員	東京都は、拠点病院の下で病院も構築しており、医療連携体制、特に難治性、重症 な患者さんが診療所から病院、病院から拠点に流れを考えていただきたい。
浅野委員	講習会を受けたら、専門的な知識・技能を有するというものになるものではない。 どういったものを専門的な知識・技能というのか、それを神奈川県としてはどの地 域に何人必要なのか、そういったことを数値化し、それを達成するためにどういっ たことが必要なのか。達成目標がないと何も進まない。
海老澤委員	神奈川県は小さいようで、拠点病院が東に寄っているという状況があり、改善しな いといけないのではないかと。人材育成や、患者のスムーズな病院間あるいは診療所 から病院、そして拠点病院の連携の流れというものが築いていけない。
金子猛委員	大学病院の位置づけは非常に重要。育成機関でもあり、また、拠点病院に、診療科 によっては医師を派遣している。研究を中心的に行っている。大学病院を組み込ん で、しっかりした連携を作っていくのが重要。
有沼委員	どういった形で教育に携われるかは、具体的に議論する必要がある。大学病院と 地域が結びついているかという点、相模原地域については、そうとも言えない。大 学病院と相模原病院と地域とという形で考えていただいた方が良いでしょう。
浅野委員	東海大学病院の場合は内科も小児科もアレルギーが一つの中心テーマとなっている おり、難治性のアレルギー疾患の診療という面では核になれる。
渡邊会長	拠点病院だけでなく、大学病院にも協力していただく体制をどういう風に作ってい くか、ということが重要な課題。それに対して、県行政がどう対応していくのか が、もう一つの課題。
渡邊会長	診療所も、どこまで対応できるのか。紹介はさせてもうらうが、そのあとのフォ ローが課題。患者を病院に送ることに課題を感じている部分はある。
小松副会長	専門医で診てもらおう部分と、それ以外の一般で診てもらおう部分と、メリハリをつけ ていく必要がある。ここまでは対応してほしいと、診療所の守備範囲を広げていか ないとならない。
海老澤委員	東京都はアレルギー疾患対策に関する部署が置かれていて、それは東京都が他の道 府県と違って恵まれている部分かと思うのですが、都がやっていることも是非参考 にしていきたい
小松副会長	県としても、病診連携といった話題は共通するところとは共有。医師会、病院協会 で関わる中で、医師の働き方改革で、メリハリを付けていかないと厳しい面はある ので、そういう視点も県の方で加えて活かしてほしい。

反映状況
<p>案に反映</p> <p>P7記載を追加</p>
<p>案に反映</p> <p>P18「医師・医療従事者等の人材育成」に「大学病 院」を明記</p>
<p>案に反映</p> <p>P19「適切な医療を受けられる体制」の概念図に 「県拠点病院と国中心拠点病院、大学病院の連携」 を記載</p>
<p>施策に反映</p> <p>(一部、案P19概念図に反映)</p> <p>(■アレルギー疾患対策の調査等) 診療所の専門医の有無や検査可能項目等の可視化や 医療機関の状況調査 ○患者の診療所選択に寄与できるよう、医師会等の 協力の下、診療所（クリニック等）の情報を集約・ 県民へ提供 ○県内医療機関の「実施状況調査」等を検討の上、 実態の把握をすすめ、ひいては今後の計画推進の基 礎とする。</p>
<p>検討・議論の継続</p> <p>○大学病院を専門病院から集学的医療機関に再編 し、拠点病院、集学的医療機関、専門医療機関の連 携として整理することを検討。 ○診療所からの紹介にも資するような、専門病院の 診療情報のさらなる提供が可能か検討。</p>
<p>施策に反映</p> <p>(■医師・医療従事者等の人材育成) 地域医療を担う診療所等への最新知識の普及を図 る。</p>
<p>庁内会議で対応</p>
<p>県庁内で共有</p>